



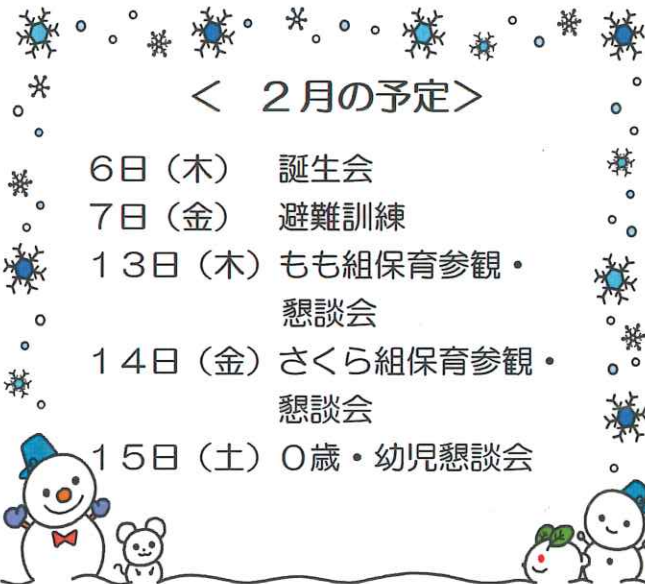
自分時間

昨年末も 28 日 29 日と「2024 キャンプ納め」を楽しみました。「寒いのに何で外で泊るの?」「寒くないの?」とよく言われます。寒くないわけではないんです。寒いんです(笑)めちゃくちゃ寒い(笑)だからこそ、焚き火です!寒い中でも火がどんどん大きくなるとその周りは本当に暖かくなります。燃える火は人の感情というか人生に似てるように思います。早く火が着くように空気をどんどん送りすぎると火は消えます。最初の小さな火の時に欲張って薪を大量に置いて同様に。一方で、しっかり燃えてしっかり「熾火」になればどんなに消えそうに見えても大きな薪も、ちゃんとポワッ!と火が着き勝手に燃え上がります。注)熾火…火が着いた薪や炭が炎を上げず芯の部分が真っ赤に燃えている状態

私がソロキャンプに行きはじめてのは 3 年前です。当時、娘が中学で不登校になり学校に行けなくなりました。そのとき私は、娘の将来を勝手に心配して不安になり何も起きていないのに涙がとまりませんでした。ある日気分転換にと娘をキャンプに誘ってみたのですが来るはずもなく(笑)とうとう私の方が限界を迎え、ひとりでキャンプに行き始め、そこからソロキャンプに夢中になってしまいました。その時もキャンプで楽しかったのは焚き火でした。中でも熾火はすごくきれいで大好きでした。ある時、熾火をぼーっと眺めていると、だんだんと『今の娘は消えそうな熾火に似ているのかも』と思いはじめました。娘は今、休んでいるように見えるけど、こころの熾火は消えてない。いいタイミングがきたら自分の力で燃え上がると思えるようになりました。カッコいいことを書けばソロキャンプは、私自身と向き合える大切な時間です。キャンプでは知らないことも多く困ったハプニングもたくさんあり毎回試行錯誤ですが、これも楽しいのです。今ではキャンプギアも増え(笑)手入れしながらウキウキしている私を一番喜んでいるのは娘です。思いかけず「ソロキャンプ」という楽しさを手にした私は老後も楽しむ気満々です!  
大山さやか

100 周年が近づいている光の園で私は今年で 24 年目を迎えることができました!光の園の歴史の約 4 分の 1 に関わることができ自分でも驚いています。今まで出会えた子ども達、保護者の方々支え合ってきた職員に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。今年も子ども達の笑い声が響き渡る保育を目指していきたいです。

愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにとわたしは祈っている  
~ヨハネの第三の手紙 2 節~



< 2 月の予定 >

- 6日(木) 誕生会
- 7日(金) 避難訓練
- 13日(木) もも組保育参観・懇談会
- 14日(金) さくら組保育参観・懇談会
- 15日(土) 0歳・幼児懇談会

保育継続確認書の締切は2月14日(金)です。  
よろしくお願いいたします。

<新年度の土曜保育・延長保育について>  
ご希望の方は、事務所に書類を取りに来てください。申請書と一緒に在職証明書を提出していただきます。



つぼみ組  
(0歳児)

★低月★

1人あそびから、友だちとの関わり

おもちゃ用の帽子をAさんに被せてみるとはじめは帽子を脱いでいましたがBさんが被っていたのを見て... Aさん、帽子を手に取り自分で被っていました。少し様子を見てみるとBさんの所へ向い、自分も帽子を被ったことを知らせるかのように、頭をポンポンしてBさんとの関わりを大切にしているようでした。



★高月★

つぼみぐみにもお人形が登場!!

お世話好きなCさん! お部屋にお人形が仲間入りしてから、フェッシュを1枚手に取り寝ているお人形の鼻を拭いてあげていました。寒いからこそお人形も鼻水が出るよね~!と優しさあふれるCさんです。これで、つぼみぐみとお人形の風邪予防はばっちりです!



もも組  
(1歳児)

魔法の呪文★



1月の誕生会のお楽しみは、2歳の担任によるマジックショーでした。それを観た直後から、どうも影響を受けている様子の子どもたち。。マジックショーの呪文をおぼえ、カゴに入ったウッドピースを混ぜながら眩いたり、積み木を積みながら唱えたり、大声で担任に向かって叫んだり(変身させようというのでしょうか)...

その魔法の呪文は、「あんどら〜、いんどら〜、うんどらっ!」と言います。元ネタは『てじな』(土屋富士夫作/福音館書店)という絵本なのですが、これもたんぼ組から借りてクラスで読んだところ大好評で、担任の声が枯れるまでリクエストされます。ちょっとした魔法ブーム、皆で楽しんでいきたいです☆



さくら組  
(1歳児)

聞こえたよ



ある日のお庭遊びでの一コマ! Bさんが片手を耳に添えて「なにか聞こえるよ?」と言っていたので、一緒に耳を傾けてみると2階のクラスからピアノの音色が聞こえてきました。そしてしばらくすると再び手を耳に添えるBさん。「ピーポだ〜」と今度はサイレンの音をおしえてくれました。おとなが気付かない小さな音でも逃さずに聞き取っていることに驚かされるとともに、感じたことを言葉で伝えられる姿に大きな成長を感じた瞬間でした☆明日はどのような【音】を教えてくれるかな!?

たんぼ組  
(2歳児)

ド〜ン、カサカサ、ポロロン♪

たんぼ組の子どもたちは楽器に触れることを楽しんでいます。ゆりぐみさんに作ってもらったカスタネットや、自分たちで拾ってきたドングリを使ったマラカス等の手作りの物や、本物の太鼓や小さいピアノに触れ、楽器と言うものに興味津々です!

とある朝、散歩へ行く前に部屋であつまりをしようとして子どもたちに声を掛けると、Aさんが手作り楽器を持ち出して「幸せなら手を叩こう」を歌いだしました。(こちらが何か言ったわけではありません)すると他の子どもたちも楽器に手を伸ばし、自然と楽器の輪が広がっていきました。また、小さなピアノを弾く時は自分が好きな歌を口ずさみながら音を鳴らし、まるで保育者がピアノを弾いて歌う様子を真似しているかのような姿もあります♪そんな子どもたちが出す音であふれる保育室が素敵な空間です!

すみれ組  
(2歳児)

正月あそび

正月明けの登園で「あけましておめでとうございます」と言ってくれた子どもたち。「お祖母ちゃんに会ったよ」「お餅食べた」など楽しい話が聞けました。中でも、「お餅、美味しいよね」「お醤油かけたんだよ」と、お餅の話が盛り上がりました。部屋でもちつきができないかと考え、夏祭りごっこ(あそび)で使った綿を使い、お餅にすることに。丸いカゴを臼にして、厚紙を丸めて作った杵を使って「ぺったんぺったん」「よいしょよいしょ」と掛け声をかけ、子どもたちが交代で餅つきをしました。夏祭りごっこでのかき氷シロップにしたのと同様に、水性マジックで綿に色付けしてきなこや醤油等、黒いテープは海苔にして巻いて自分の好きなお餅を作り、綿があちこちにくっついた姿で美味しそうに食べる真似をしていましたよ。他にも福笑いや、散歩先でビニール袋の凧を上げたりと、身近なもので正月を満喫した1月の子どもたちでした。







ゆり組  
(5歳児)



『ぬりえがきっかけに』

朝食インタビューを始める前に食品の色別による役割に興味  
が持てるように、食品グループのぬりえをやってみました。すると  
普段はぬりえに興味のない A さんが集中して、食材と食品ご  
との色分けも完璧に塗っていました。見本もまだクラスにない時  
だったのですが、Aさんは「きいろのなかまと書いてあるからわか  
かった!」とひらがなを読めたことも含めて自信に満ちた顔で教  
えてくれたのです。Aさんは苦手な食材が多く、残すことがほと  
んど。でも、ただ残していた時と今ではAさんの気持ちに変化  
があったことはハッキリと感じられます。みどりの仲間の中で食  
べられるものを探して一口食べてみようとする日もあります♡

あそびの中から興味を持ったり、自分で考え工夫する・挑戦す  
る子どもたちのパワーは私たちのパワーの源でもあります!

『ゆり組が水族館になる?!』

夏くらいから「水族館」というワードは何度か子  
どもたちからは出ているのですが、盛り上がりを見  
せる展開には至らず…。しかし先月のある日のこと、  
絵の具あそびをしていたらBさんが「白いクレヨン  
で描いてから絵の具で塗ると絵が浮き出てくるー」  
と何枚か描いている中にチンアナゴがありました。  
特徴をよく捉えていて、とってもかわいい作品でし  
た。それを見ていたCさんも「ぼくも何か描きたい  
〜!イルカとカニにしようかな」と画用紙に描き始  
めました。先日のすみだ水族館への散歩の影響もあ  
り、今後ゆり組は水族館になるかもしれません。子  
どもたちがどんなことを始めるのか、ワクワクして  
いる担任です☆



食品グループ表

子どもたちは、下のイラストでぬりえを楽しんでいます。  
枠の中を黄色や赤・緑で色塗りをしイラストも丁寧に塗っ  
ていました♡

☆きいろのなかま☆  
げんきのもと!  
遊んだり、考えたりするときの  
ちからになる

☆あかのなかま☆  
しょうぶなからだをつくる  
皮膚・血・筋肉など、  
からだをつくるもと



☆みどりのなかま☆  
からだの調子をととのえる  
病気になりにくいからだをつくる  
いいうちを出す

※「ノリ」や「ワカメ」など  
の海藻類は、「みどり」ちゃ  
んのなかまに入ることが  
多いです。

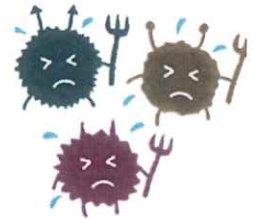


# ほけん

## 感染症罹患時の受診のお願いについて

今年に入ってから本園では様々な感染症が流行しています。皆さんの中には、感染症は対症療法しかないから受診は必要ないと思う方もいるかもしれませんが、しかし中には命に関わる程度に重症化するお子さんや、気づかない間に中耳炎などが悪化して二次的に難治性疾患にかかってしまうお子さんもいます。何か症状が出て受診しないまましていると、適切な治療や経過観察が受けられないばかりか、他の人たちにも感染を広げてしまいます。発熱していなくても感染していることはよくあることです。感染症流行時など何らかの感染症が疑われる時は、受診をしてくださるようお願いいたします。

園では慢性的な疾患があるお子さんや保護者の方がいらっしゃいます。感染症の罹患者が確認された場合は、速やかに皆様にお知らせして流行を沈静化する必要があるため、診断を受けられましたら必ず園へお知らせくださるようお願いいたします。



# おしよくじ

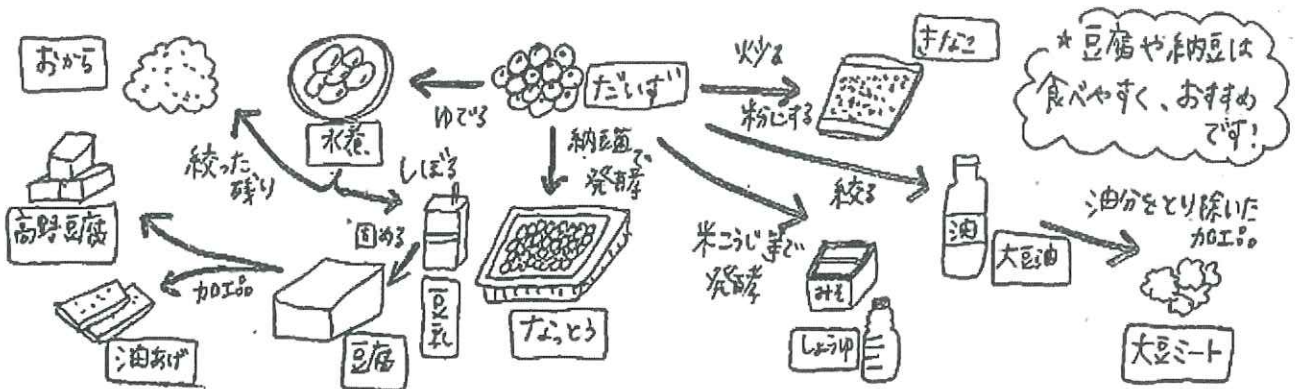
2025年は2月2日です



## ○ だいず ○ のはなし ●●●

「立春」の前日、「節分」で行われる「豆まき」には、煎った大豆が使われます。この大豆は「畑の肉」と呼ばれるほど良質なたんぱく質が多く含まれます。ほかにもカルシウムや食物繊維なども含みます。しかし、大豆は生のままでは消化されません。日本では昔から大豆の栄養を最大限に生かすために、いろいろな加工品が作られています。

とても栄養満点の食材ですが、特に豆の形状が残った状態では乳幼児にとっては誤嚥のある危険な食材でもあります。加工品で毎日の食事に上手に取り入れてみましょう！



降園の際（本園）、スロープであそぶと怪我に繋がることがあるので、速やかな降園をお願いいたします。

今月のやまびこは  
ありませんでした





## おひさま文庫より

### 「皆の声が届いてくる.ちいさな図書館」

昨年三月末、卒園間近のゆり組のAさんが「おひさま文庫にどうぞ」と園に絵本を寄贈してくれました。

入園した時からおひさま文庫をよく利用してくれていた子が、後輩の為に考えに考えて選んでくれたのは、

「はってんじん」「くんちゃんのたいぼうけん」「しっぽのはたらき」の三冊でした。

園の中のちいさな図書館をこうして大切に思ってくれている子どもたちがいること、嬉しく思います。

先日、ちゅうりっぷ組のBさんが、「くじらの絵本が無いのだけど知ってる?」と聞いてきたので、「今貸し出し中じゃない?」と答えると

ちょうどその場にいたCさんが「あ、その本ボクが今かりてるところ」とのこと。するとBさんはCさんに

「次、ボクがかりるから、返したら教えてね」と声をかけるといやり取りもありました。

絵本の整理をしていると、時々

「この絵本気に入っています何度も借りています」と声をかけて下さる保護者の方もいらっしゃいます。

そんな声も参考にしながら、「次はこんな絵本を

置いてみようかな」とか「この絵本の面白さに誰か気がついてくれるといいな」と思いながら本を並べています。

引き続き、皆にとってほっとする、わくわくする部屋になるように整えていこうと思います。



### 新しい本 (保護者向け)

- ・「育てにくい」と感じたら (子育て応援BOOK) 著、近藤直子 ひこね書房
- ・じょうぶな頭とかしこい体になるために 著、五味太郎 ブロンズ新社

### おしらせ

おひさま文庫は、3月～4月は図書整理の為  
休業とさせていただきます。

